

# 楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.35

日時	2013年9月29日
行脚先	合元寺
住所	大分県中津市寺町（豊前国）
行事名	

## 特徴

合元寺は通称「赤壁寺」ともいわれています。  
天正15年(1587年)、黒田官兵衛に従って姫路から中津に移り住んだ浄土宗西山派、開山空誉上人が開基したと伝えられています。  
寺内には、三浦梅園、倉成龍渚の師、儒学者藤田敬所(藤貞一)の墓があります。

## 黒田官兵衛との関わり

天正17年4月、黒田官兵衛が、前領主であり旧領回復を目指して一揆を起こした宇都宮鎮房を謀略結婚により中津城内で誘殺しました。  
その際、鎮房の従臣ら40名が中津城を脱出し、この寺を拠点として奮戦し最期を遂げました。  
寺の門前の白壁は黒田兵が彼らを討った際に血痕が付着し、幾度塗り替えても血痕が絶えないので、遂に赤色に塗られるようになったそうです。  
当時の激戦の様子は現在も庫裏の大黒柱に刃痕が点々と残されています。  
また、戦死した宇都宮家の家臣は合葬し、寺内の延命地藏菩薩堂に祀り菩提が弔われました。  
空誉上人は宇都宮鎮房の庶子であったといわれ、文武の道に秀で世人の崇敬が篤かったため、後事をおそれた黒田長政により慶長16年、福岡城で誘殺されました。

## 記録

